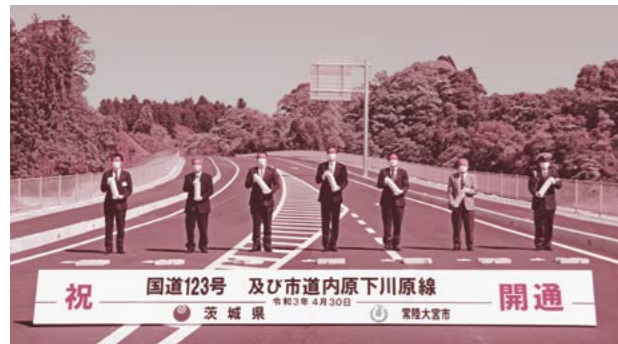


4/30 国道123号交通安全祈願式

御前山地域野口地区の国道123号バイパスの一部が供用開始となり、晴天の中、交通安全祈願式が開催されました。

国道123号御前山拡幅と市道内原下川原線の全長1.3kmが今回開通しました。

今後、災害時における緊急輸送道路として重要な役割を担うとともに、交通の利便性が向上し、地域交流の促進と地域経済の活性化へつながる路線として期待されます。



▲開通の様子

5/11 日鉱第一砕石・筑波銀行から寄附されました

新型コロナワクチン接種事業に役立ててほしいと日鉱第一砕石株式会社より事業支援金、筑波銀行より寄贈サービス付きSDGs私募債「地域の未来応援債」の発行手数料を活用した、寄附金併せて100万円が寄附されました。

コロナワクチン接種対策に有効活用していきます。



▲(右から)筑波銀行大宮支店 千葉 慎吾支店長
日鉱第一砕石株式会社 小河原 欣也代表取締役会長

5/18 トルコギキョウが寄贈されました

JA常陸トルコギキョウ部会より市役所窓口等に飾り、地域の方々が癒され、元気になってほしいと、市内で栽培されたトルコギキョウが寄贈されました。

色鮮やかなトルコギキョウが、市役所の窓口を華やかに彩りました。



▲(右から)JA常陸大宮営農経済センター 飯塚 涼太様
JA常陸トルコギキョウ部会 副部会長 桑原 政男様
部会長 笹島 邦男様

5/18 総合計画審議会が開催されました

市では、総合計画基本構想（ひたちおおみや未来創造ビジョン）の改訂及び令和4年度を初年度とする総合計画基本計画（ひたちおおみや未来創造アクションプラン）の策定を進めています。総合計画は、市政運営の指針となり、また、各分野のまちづくりを進めるうえでの最上位の指針としての役割を果たします。

5月18日に今年度第1回となる総合計画審議会を開催し、馬渡剛会長（茨城大学人文社会科学部現代社会学科教授）に鈴木市長から総合計画策定について諮問がされました。審議会は、市議会議員や市民代表者の28名の委員で構成されています。今後、複数回の審議会が開催され、本年度内に鈴木市長に審議会より答申が行われます。



▲審議会の様子

5/12 常陸大宮ライオンズクラブから寄附されました

毎年度、奨学基金に役立ててほしいと常陸大宮ライオンズクラブから支援金が寄附されています。本年度も10万円が寄附されました。

今後、大切に活用していきます。



▲(右) 常陸大宮ライオンズクラブ 寺門 直人会長

5/13 鮎の稚魚放流

鮎の稚魚放流が、久慈川漁業協同組合の協力により、道の駅常陸大宮かわプラザの河原で行われました。放流には、大賀小学校の4～6年生34人が参加しました。この日に放流されたのは約1,200匹の稚魚。バケツに数匹ずつ入った稚魚を次々と久慈川に放流しました。



▲大きくなって戻ってきてね！

5/19 永田茂衛門に関する古文書が寄贈されました

江戸時代の初め、久慈川や那珂川から農業用水を引くため、辰ノ口江堰や岩崎江堰、小場江堰をはじめ、水戸藩領内各地に江堰やため池、水道施設を作った永田茂衛門とその子孫の功績を伝える貴重な古文書59点が、茂衛門の子孫である永田由紀夫さんから市に寄贈されました。永田家は、初代茂衛門以来、水積役（江堰の管理責任者）を務め、様々な記録を残しました。また、江戸時代後半の天保期以後、水戸藩士の加藤寛斎が茂衛門一族の功績を絶賛し、広く顕彰したことが知られています。寄贈された古文書は、今後文書館で公開していく予定です。



▲古文書を寄贈した永田由紀夫さんご夫妻
写真提供茨城新聞社

5/21 茨城アストロプラネッツ 試合開催

スポーツを通じた地域振興と地域貢献に取り組み、青少年の健全育成や市民の健康増進、豊かな社会生活を実現することを目的に、本市とフレンドリータウン協定を締結している茨城アストロプラネッツが大宮運動公園市民球場（鷹巣）で試合を行いました。試合には、本市出身の片岡 南樹選手も出場し、活躍しました。

今後も7月16日（金）・17日（土）・18日（日）に、試合が予定されています。



※今後の試合開催スケジュールについて、5月10日発行の広報常陸大宮お知らせ版(No.445)に掲載しています。

5/22

宗次郎森の音楽会

緒川総合センターで、オカリナ奏者、そして常陸大宮大使の宗次郎氏による演奏会が開かれました。本来は、オカリーナの森「野外音楽堂」(緒川地域)で開催予定でしたが、雨天のため、緒川総合センターが会場となりました。オカリナの澄んだ音色がとても心地よく響き渡り、参加した方々は、癒しのひと時を過ごしました。



▲オカリナ奏者 宗次郎氏

5/27

大貫 亘氏から
写真集が寄贈されました

写真家で常陸大宮大使の大貫 亘氏より、本年5月に発行された写真集「蛭 ～里山に舞う～」が20冊寄贈されました。写真集には、常陸大宮市とその周辺で飛び交う、さまざまな蛭が、収められています。寄贈された写真集は、市内小中学校・図書館に配られました。この機会に、ぜひ地元の美しい蛭の写真をご覧ください。



▲(右) 写真家 大貫 亘氏

6/3

新型コロナワクチン集団接種がスタートしました

新型コロナワクチンの集団接種が西部総合公園体育館でスタートしました。初日には、430人がワクチン接種を受けました。受付開始にあわせ、対象者が順次来場し、スタッフの案内に従って、体温の測定、問診を経てワクチンの接種を行いました。市では、65歳以上になる方(昭和32年4月1日以前に生まれた方)を対象にした新型コロナワクチンの優先接種を5月24日から開始しています。



▲事前の問診

接種は、西部総合公園体育館、神奉地コミュニティセンター、緒川総合センターで行う集団接種並びに、かかりつけの病院や診療所で行う個別接種により実施しております。新型コロナワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、まん延防止を図るものです。希望する全ての方が接種できるように、ワクチンは順次供給されます。少しお待ちいただく場合がありますが、安心してお待ちください。



▲個別ブースでの接種

ピジョン株式会社から子育て支援事業に
寄附されました

国内トップの育児用品メーカーである、ピジョン株式会社(本社:東京、代表取締役社長:北澤 憲政)から、企業版ふるさと納税※を活用し1,000万円が寄附されました。常陸大宮市の企業版ふるさと納税を活用した寄附の受領は今回が初めてとなります。子育て環境の整備に活用し、安心して子どもを産み育てることができるまちづくりを推進していきます。

※企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)は、国が認定した地方公共団体の地方創生のプロジェクト(地域再生計画)に対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みで、平成28年度(2016年)に創設されました。



広報紙に
記事を掲載しませんか?

広報常陸大宮では、「市民の方からまちのできごと」を募集しています。皆さんがお住まいの地域のできごとについて、原稿と写真データを直接お持ちいただくか、メール等でお送りください。また、希望があれば取材にうかがいますので、情報の提供をお願いします。

■問い合わせ■
政策審議室 企画政策課 広報戦略グループ
☎ 52-1111(内線311) FAX 52-6010
メールアドレス
kouhou@city.hitachiomiya.lg.jp

※ただし、内容が営利・宗教・政治的なものや公序良俗に反するもの等は掲載できません。また、紙面の都合上、掲載が遅れる場合もありますので、ご了承ください。

いばらき自転車ネットワークの整備について

茨城県では現在、3つのルート of 自転車ネットワーク整備を、関係市町村や河川管理者等と協力し推進しています。以下、ルート上に設置している標識等を紹介します。



<ルート案内標識>
ルート上で右左折する交差点や、迷いやすい交差点で案内を行います。 ※右折の際、自転車は二段階右折となります。

標識設置の基本的な考え方
①予告看板は交差点手前50mに1箇所
②案内看板は交差点手前10mに1箇所
③確認看板は交差点通過後10mに1箇所
3箇所を1セットとして整備

<注意喚起標識>
急カーブや道路の幅が狭くなる場所等の手前に設置し、自転車の走行に注意を促します。

<自転車の通行箇所>
自転車は原則として車道を通行することになっていますが、次に該当する場合は歩道を通ることができます。(原則として徐行・一時停止して通行すること) 【歩道通行可能な道路標識等がある場合、13歳未満の方、70歳以上の方、身体に障害がある方、安全を確保するためやむを得ない場合】

<問い合わせ先>
茨城県 土木部 道路維持課 道路保全強化推進室 029-301-4445
県民生活環境部 スポーツ推進課 029-301-2735
常陸大宮土木事務所 道路管理課 0295-52-3152